

令和5年度事業報告

新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザと同等の5類感染症に移行し制限が緩和されたことで業績やインバウンド需要も拡大し、経済に活気が戻ってきました。しかし、世界各地での戦争による穀物輸出の停滞、中国需要の拡大、円安等により食品、燃油等が値上がりし、必ずしも生活の豊かさが実感できない状況にありました。

畜産経営は、費用の多くを占める配合飼料や乾牧草価格が高止まりし、一方販売価格は物価高騰の影響による消費量の減少で低迷し、特に肉用牛は価格が大きく値下がりしました。酪農も乳価が値上げされましたが十分なコスト転嫁とはいきませんでした。

このため、協会は、農業団体と連携して県に対し飼料高騰対策支援及び国の和子牛臨時経営対策支援金の要件見直し要請を行った結果、県からは2度にわたり補正予算が措置されました。畜産農家は、国、県などの各種支援策によって経営が何とか維持される状況となりました。

協会としては、和子牛生産者臨時経営支援金や子牛、肥育牛の経営安定の補給金、交付金の生産者への迅速かつ円滑な交付を行った他、経営を継続するため経営診断を通じて融資制度の活用指導を行いました。また、生産コストの削減や生産性の向上を図るため、コントラクター組織と連携し稲WC Sや飼料用とうもろこしなど自給飼料の増産、各種補助事業による施設整備、機械の導入推進、有利販売に繋がるおかやま四ツ☆子牛の推奨を進めました。さらには、省力化のためのDX技術の普及、和牛入門講座による担い手の育成、女性リーダー育成のための研修会など畜産経営の安定と持続的な発展に向けた支援活動を行いました。

衛生対策では、牛ウイルス性下痢の清浄化、牛異常産等各種ワクチンの接種推進による家畜伝染性疾病の発生・流行防止や海外悪性伝染病の発生時のリスク抑制のための家畜防疫互助基金の造成に取り組むとともに、農場HACCP認証の取得推進、厳正で公正な生乳検査を通じて安全で安心な畜産物の供給に努めました。

こういった取り組みに加え、全国畜産経営技術発表会へ推薦した蒜山のジャージー酪農家の丸山昭博夫妻が、飼料基盤に立脚した経営が高く評価され農林水産大臣賞を受賞し、ジャージー酪農の発展への期待が高まりました。

終始ご指導とご協力をいただいた農林水産省及び中央団体、そして岡山県及び県内関係機関の皆様に心からお礼を申し上げます。

各事業の実施内容は次のとおりです。

1 総会及び役員会

(1) 総会

期 日	場 所	内 容
定時総会 令和5年6月21日	岡山県農業共済会館 6階大会議室	議 事 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について 第2号議案 令和5年度事業計画及び予算について 第3号議案 令和5年度会費の額及び徴収方法について 第4号議案 令和5年度借入金最高限度額について 第5号議案 令和5年度役員報酬の支給額について 第6号議案 役員の改選について 第7号議案 その他 報 告 事 項 公益目的支出計画実施報告について
臨時総会（書面） 令和5年8月8日	岡山県農業会館5階 岡山県畜産協会	議 事 第1号議案 書面による決議の承認について 第2号議案 役員の補欠選任について

(2) 理事会

期 日	場 所	内 容
令和5年5月26日	岡山県農業会館2階 全国農業協同組合連 合会岡山県本部 第1会議室	議 事 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について 第2号議案 令和5年度事業計画及び予算並びに関連項目に ついて 第3号議案 公益目的支出計画実施報告について 第4号議案 役員の改選について 第5号議案 定時総会提出議案について 第6号議案 その他
令和5年6月21日	岡山県農業共済会館 6階研修室	議 事 第1号議案 顧問、会長、副会長、専務理事の選任並びに代表理 事、業務執行理事の選任について 第2号議案 役員報酬の支給について 第3号議案 理事の補欠選任に係る書面による臨時総会の開催 について 第4号議案 その他
令和5年11月10日	岡山県農業会館2階 全国農業協同組合連 合会岡山県本部 第1会議室	報 告 事 項 代表理事の職務執行状況報告について 業務執行理事の職務執行状況報告について 議 事 第1号議案 令和5年度予算の補正について 第2号議案 令和5年度上期事業実施状況と下期の見通しに ついて 第3号議案 その他

期 日	場 所	内 容
令和6年3月15日	岡山県農業会館2階 全国農業協同組合連 合会岡山県本部 第1会議室	報 告 事 項 令和5年度事業実績及び決算の見込みについて 代表理事の職務執行状況報告について 業務執行理事の職務執行状況報告について 議 事 第1号議案 令和6年度事業計画及び予算について 第2号議案 給与支給細則の一部改正について 第3号議案 令和6年度執行体制について 第4号議案 その他

(3) 監事会

期 日	場 所	内 容
令和5年5月24日	岡山県農業会館5階 畜産協会役員室	令和4年度事業報告、計算書類及びその附属明細書、公益目的支出計画実施報告

2 事業実績

(1) 事業概要

本協会は、畜産経営の安定的発展と畜産の振興に寄与することを目的に以下の5種類の事業を実施した。

- ① 畜産経営安定のための経営技術支援、調査研究、情報提供、技術知識の普及啓発
- ② 一般消費者等への畜産及び畜産物の各種情報提供、知識の普及・啓発
- ③ 畜産経営の安定のための各種補てん金、補給金の交付
- ④ 家畜の健康保持及び畜産物の生産衛生に係る技術指導及び自衛防疫の推進並びに死亡獣畜の適正処理に関する支援
- ⑤ 生乳取引の公正化のための検査及び生乳品質向上の指導

(2) 公益目的事業

1) 公益目的事業 1

畜産経営の安定と、安全な畜産物の安定供給に資するための事業を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
自衛防疫活動強化 対策支援事業 (岡山県畜産協会)	・家畜伝染病の発生を予防するため、牛異常産ワクチンの接種を支援した。また、農家等の農場HACCP認証取得支援等を実施し、自衛防疫活動の促進と生産性の向上を図った。 ・家畜疾病の予防や暑熱対策を行うため、石灰乳塗布機を畜産農家に貸し出した。	① 牛異常産ワクチン接種支援 7,448 頭 ② 農場HACCP認証審査支援 1 農場 ③ 石灰乳塗布機貸出 延べ10 農場

2) 公益目的事業 2

酪農収益の改善に資するため、生乳品質向上の指導を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
生乳品質向上対策 事業 (岡山県畜産協会)	粗飼料自給率の高い農家について、土壌検査を実施するなど、生乳成分や衛生品質の向上を支援した。	乳質改善指導支援のための検査実施 土壌検査の実施 23戸 57点

(3) 継続事業

1) 継続事業 1

畜産経営の安定に資するため、経営技術支援、調査、情報提供、技術知識の普及啓発事業を次のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
畜産経営技術高度化促進事業 (岡山県)	飼料高騰による畜産危機の現状を踏まえ、畜産経営の経営診断を通じた現状分析や、診断結果と連動した飼養管理指導を県関係機関等と実施し、併せて政策金融公庫等金融機関と連携し、融資計画の作成など効果的な支援・指導活動を行った。 また、酪農経営支援チームにおける経営指導の取り組みを、和牛農家についても岡山和牛子牛資質向上対策協議会において実施した。 各種セミナーや研修会等を実施するなど、畜産経営における担い手などの育成を進めるとともに、和牛繁殖経営においては、他産業等からの担い手の確保のための和牛入門講座及びフォローアップ研修としての和牛未来塾を開催した。 飼料高騰対策としては、推進会議や研修会を開催し、県産飼料の増産・利用拡大や耕畜連携による飼料用稲の作付面積拡大を推進するとともに、推進の中核となる岡山県コントラクター協議会の支援を行った。	酪農経営支援チーム推進会議 6回 和牛子牛資質向上対策協議会幹事会等 14回 繁殖経営巡回指導 34回 経営分析指導等 25件 経営支援セミナー 3回 若手生産者との座談会 1回 和牛入門講座 受講生 3名 研修 2回 牧場体験実習 7回 和牛未来塾 3回 和牛シンポジウム 1回 県産飼料利用拡大研修会等 4回 HPアクセス数 937,300ページ
畜産特別資金推進指導事業 (中央畜産会)	畜産特別資金借受者の経営体質強化のため、定期的な経営状況の把握を行うとともに、経営分析に基づく指導及び濃密指導を実施し、融資機関に対する指導を行った。 また、多額の投資を行っている経営等をモニタリングし、畜特資金借入が必要な経営の早期把握に努めた。	協議会開催 6回 濃密指導 2戸 現地指導等 2戸 セミナー 1回 モニタリング対象 酪農 4件 和牛繁殖 3件
岡山県畜産ヘルパー事業円滑化対策事業 (岡山県、市町村、関係団体)	県、関係団体で造成した基金を活用して、以下のヘルパー活動に対し助成した。 ①ヘルパー派遣活動 ②酪農経営安定化支援ヘルパー事業で取り組む事業	酪農ヘルパー派遣旅費の一部に対する支援 安定化支援ヘルパー事業に係る自己負担部分の一部に対する支援

事業名	事業概要	実施内容
酪農経営安定化支援ヘルパー事業 (農畜産業振興機構)	ゆとりや生産性の高い酪農経営の実現及び担い手の確保に資するため、以下の事業を実施した。 ①酪農の担い手となる酪農ヘルパー人材育成支援 ・酪農ヘルパー実践研修手当支援 ・酪農ヘルパー資質向上を図るための研修会の開催 ・臨時ヘルパー実践研修者の住宅・通勤手当支援 ・臨時ヘルパー出役経費支援 ②傷病時利用の円滑化 ・互助制度に基づく酪農ヘルパー料金の負担軽減 ③利用組合の強化 ・推進協議会の開催 ・広域利用等による出役調整 ・傷害補償保険及び財物賠償保険の加入促進 ・防疫計画作成及び防疫機器等の整備	臨時出役 1回1,000円 ×636回/年/人 傷病利用 延べ43人 ヘルパー事業強化検討会の開催 2回 ヘルパー研修会 1回 総距離30km以上の派遣に対する燃料費支援 3,499千円 保険料に対する補助 731千円 防疫資材導入補助 174千円
肉用牛経営安定対策補完事業 (農畜産業振興機構)	中核的担い手の育成と導入・保留による増頭推進、繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備及び肉用牛ヘルパー活動支援等による肉用牛生産基盤の安定化を図るため、各地域において肉用牛生産振興への取組を行うJA及び肉用牛ヘルパー組合等に対し補助した。 ①中核的担い手育成増頭推進(増頭奨励金) ②簡易牛舎等の整備 (建築経費・器具機材導入経費補助) ③肉用牛ヘルパー推進(活動経費補助)	①中核増頭 32頭 3,080,000円 ②簡易牛舎 1棟 4,074,490円 ③ヘルパー組合 2組合(新見市和牛改良組合、津山肉用牛ヘルパー組合) 2,828,968円
広報事業	「岡山畜産便り」を編集・発行し、県内外の指導者及び畜産経営者に情報提供を図った。そのうち1月号を合併20周年記念特別号とした。 また、中央畜産会が発行する畜産コンサルタント誌等畜産関係優良図書を斡旋した。	畜産便り 年6回発行 1回 720部
畜産振興対策事業 (岡山県畜産協会)	各種共進会並びに畜産関連イベントに職員の派遣や、賞品の提供等の支援を行った。	枝肉共進会等 18名 賞品賞状の交付 5件
地域畜産生産性向上対策事業 (岡山県畜産協会)	肉用牛経営の活性化を図るため、関係機関との連携のもと、生産性向上の地域勉強会や先進事例の調査・分析を行い、肉用牛経営の収益性の向上と生産基盤の強化に取り組んだ。	研修会開催 4回 参加者 延べ112名

2) 継続事業 2

畜産経営の安定に資するため、各種補填金、補給金を交付する事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
肉用牛肥育経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)	肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産基盤の拡大に資するため、あらかじめ個体登録され、出荷した肉用牛に対し、その月毎の粗収益が生産費を下回った場合、その差額の9割について、交付金を交付するとともに、事業の推進指導を行った。 (交付金額に4分の1を乗じた額を生産者積立金より支払うもの)	個体登録頭数 (令和5年4月～令和6年3月)
	○生産者負担金単価 (単位：円／頭)	・肉専用種 3,484頭 ・交雑種 10,233頭 ・乳用種 1,679頭 計 15,396頭
		補填金交付実績 (令和5年1月～令和5年12月交付分)
		肉専用種 2,881頭 (711頭) 160,167,900円 (15,120,888円)
		交雑種 7,680頭 (5,303頭) 268,189,544円 (112,949,445円)
		乳用種 1,316頭 (2,160頭) 51,424,962円 (95,582,476円)
		合 計 11,877頭 (8,174頭) 479,782,406円 (223,652,809円)
		※ () は前年度値
肉用子牛生産者補給金制度 (農畜産業振興機構)	肉用子牛生産の安定を図るため、肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象に、その差額を生産者補給金として交付する制度で、第2、第3四半期において、黒毛和種に対し交付を行った(同制度21年ぶりの発動)。 なお、その他の品種については、保証基準価格を上回って推移したため、補給金の交付はなかった。	個体登録頭数
		・黒毛和種 4,365頭 ・褐毛和種 1頭 ・交雑種 2,432頭 ・乳用種 130頭
		・その他の肉専用種 0頭 計 6,928頭

	<table border="1"> <tr> <th>価格 品種</th><th>保証基準価格 (円/頭)</th><th>合理化目標価格 (円/頭)</th></tr> <tr> <td>黒毛和種</td><td>556,000</td><td>439,000</td></tr> <tr> <td>褐毛和種</td><td>507,000</td><td>400,000</td></tr> <tr> <td>その他の肉専用種</td><td>325,000</td><td>256,000</td></tr> <tr> <td>乳用種</td><td>164,000</td><td>110,000</td></tr> <tr> <td>交雑種</td><td>274,000</td><td>216,000</td></tr> </table> (業務対象期間 5年間 令和2～6年度)	価格 品種	保証基準価格 (円/頭)	合理化目標価格 (円/頭)	黒毛和種	556,000	439,000	褐毛和種	507,000	400,000	その他の肉専用種	325,000	256,000	乳用種	164,000	110,000	交雑種	274,000	216,000	生産者補給金交付実績 (令和5年7月～9月) ・黒毛和種 30,375,200円 @34,400×883頭 (令和5年10月～12月) ・黒毛和種 38,726,000円 @33,500×1,156頭 合計 69,101,200円 2,039頭
価格 品種	保証基準価格 (円/頭)	合理化目標価格 (円/頭)																		
黒毛和種	556,000	439,000																		
褐毛和種	507,000	400,000																		
その他の肉専用種	325,000	256,000																		
乳用種	164,000	110,000																		
交雑種	274,000	216,000																		
肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 (農畜産業振興機構)	肉用子牛生産者補給金制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、J A等事務委託先の協力を得て、生産者補給金交付契約及び個体登録、負担金の受入・基金造成・補給金の交付、契約肉用牛の販売・保留確認、家畜市場データの収集・整理、事務委託先及び契約生産者に係る現地調査・指導を実施した。	事業委託先 農協等 6団体																		
指定協会運営体制支援事業 (農畜産業振興機構)	肉用子牛生産者補給金制度の運営体制の強化を図るための推進活動に努めた。																			
黒毛和種新規契約奨励事業 (岡山県畜産協会)	肉用子牛生産者補給金制度への加入促進を図るため、新規に個体登録する契約生産者に対し、奨励金を交付(生産者負担金相当額(400円)を助成)した。	交付内訳 生産者数 75名 交付頭数 2,114頭 交 付 額 846千円																		
肉豚価格安定事業 (岡山県・全農) 肉豚経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)	養豚経営の安定を図るため、農畜産業振興機構や生産者等が基金を造成し、平均収益が平均生産コスト(四半期毎に算定)を下回った場合に、その差額の9割について補填金を交付するものであるが、堅調な枝肉価格の推移により、今年度の補填金の交付はなかった。 負担金の額 機構：生産者等＝1,200円：400円 (事業実施期間 3年間 令和3年度～令和5年度)	事業登録実績頭数 60,162頭																		

3) 継続事業3

畜産物の生産衛生に係る技術指導及び自衛防疫の推進並びに死亡獣畜の適正処理に関する支援を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
岡山県自衛防疫強化対策推進事業 (岡山県)	家畜衛生対策の推進を図るため、地域推進会議、ワクチン需給調査、農家・畜産関係者等への広報、ワクチンの接種推進を行った。	地域推進会議 4回 ワクチン需給調査 毎月 広報部数 1,000部
特定疾病自衛防疫推進事業(岡山県)	県の補助によりワクチン接種を組織的に実施し、鶏ニューカッスル病の発生予防を支援した。	実施羽数 鶏 11,358千羽
家畜生産農場衛生対策事業 (農林水産省)	・ヨーネ病対策 ヨーネ病発生農場の患畜と疫学的に関連が高い牛のとう汰は該当牛がいなかった。 ・牛伝染性リンパ腫対策 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため、発生農場等での陽性牛を確認するための検査を実施したが、感染源となる高リスク牛のとう汰は希望がなかった。 ・牛ウイルス性下痢(BVD)対策 感染拡大防止を図るため、P I牛(ウイルスを持続して保有・排出し、感染源となる牛)を摘発する検査を行ったが、摘発農場でのワクチン接種及びP I牛のとう汰は希望がなかった。 ・農場飼養衛生管理強化対策 飼養衛生管理を向上させるため、指導チェック表を作成し、指定獣医師等による指導を行った。 ・伝染病発生防止の推進 家畜の伝染性疾病の発生、流行防止を推進するため牛異常産ワクチンの接種を推進した。	検討会議等 4回 牛伝染性リンパ腫検査 1,883頭 P I牛摘発検査 509頭 農場巡回指導 170戸×2回 牛異常産ワクチン接種 7,514頭
家畜防疫互助基金支援事業 (中央畜産会)	口蹄疫、豚熱等越境性動物疾病の発生に備え、生産者の損失を互助補償するための基金造成事業。 今期実施期間(令和3～5年度)の最終年度。昨年度に引続き、事業参加者に飼養衛生管理基準の遵守に関するパンフレットを配布し、飼養衛生管理基準遵守の指導を行った。また次期実施期間(令和6～8年度)の契約のため事業の周知を図るとともに事前申込を受け付けた。	加入戸数(5年度末) 牛(実戸数) 307戸 乳用牛 146戸 肉用牛 190戸 豚 9戸 農家積立金 10,817千円
牛疾病検査円滑化推進対策事業 (農林水産省)	BSEの浸潤状況を把握し、防疫体制を検証するため、協議会を開催するとともに、事業対象農家に輸送費、処理費を補助した。(対象牛96ヵ月齢以上および48ヵ月齢以上の起立不能牛等)	協議会 1回 死亡牛処理見込頭数 131頭

(4) その他事業

1) その他事業1

畜産経営の安定に資するため、経営技術支援、調査、情報提供、技術知識の普及啓発事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要
畜産経営技術指導事業 (地方競馬全国協会)	地方競馬全国協会の支援の下、①国際化に対応しうる競争力の高い担い手の育成・確保に取り組む業務、②消費者に対する地域畜産の理解の増進業務、③馬事畜産振興普及啓発業務、④畜産を核とした地域の活性化業務を実施した。

2) その他事業2

畜産経営の安定に資するための各種補填金、補給金を交付する事業を補完するための事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
マル緊特別事業 (岡山県畜産協会)	肉用牛肥育経営安定交付金制度を補完し、円滑に事業を推進するため、事務委託先に対する支援や調査・指導等を実施した。	事務委託先 4ヵ所
肉用子牛価格安定対策特別事業 (岡山県畜産協会)	肉用子牛生産者補給金制度を補完し、登録業務の円滑な実施に努めた。	個体登録頭数 6,928頭

3) その他事業3

自衛防疫の推進並びに死亡獣畜の適正処理を円滑に実施するための事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
予防注射事業 (岡山県畜産協会)	家畜の伝染性疾患の発生を防止するため、各種予防注射を計画的に実施した。 ＜主なワクチン接種実績＞ 牛異常産3種混合 711頭 牛異常産4種混合 6,737頭 牛IBR5種混合 2,764頭 牛IBR6種混合 3,660頭 鶏(ND、NB) 11,358千羽	実施頭羽数 牛 29,433頭 (31,524頭) 鶏 11,358千羽 (14,419千羽) ※()は前年度値
岡山県家畜衛生管理センター維持管理業務 (岡山県)	死亡した牛のBSE検査のため岡山県の設置した集荷採材保管施設の維持管理業務を受託し、円滑な運営を行った。	検査対象牛受付頭数 123頭

4) その他事業4

生乳取引の公正化並びに生乳品質向上のための検査を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
生乳検査受託事業 生乳格付検査事業 (中国生乳販連)	中国生乳販売農業協同組合連合会と畜産協会による業務委託に基づき、生乳の格付検査を行い、生乳の公正かつ円滑な取引と品質向上に努めた。 (格付受託検査) ・検査回数：3回／月（上旬・中旬・下旬） ・乳業者：オハヨー乳業(株)他中国地区内乳業者 ・検査乳量：15,279トン程度／月 ・検査料：0.05円／kg	総検査乳量 183,342トン (188,513トン) ※（ ）は前年度値
生乳成分検査事業 (中国生乳販連)	中国生乳販売農業協同組合連合会等からの受託により、生産者ごとの乳成分や細菌数の検査及び牛群検定農家個体別乳成分検査を行い、乳牛の飼育管理や乳質の向上に努めた。 (検査項目) 脂肪率・蛋白質・乳糖・無脂乳固形分率・全乳固形分率・体細胞数・細菌数 (検査料) ・取引検査：0.1円／kg（農家生産量） (農家別分配・細菌検査) ・牛群検定検査：50円／件 ・指導検査：100円／件 ・組合員外検査：1,500円／件	農家別分配・細菌検査 286,517トン (292,244トン) 牛群検定検査 185,799件 (192,666件) 指導検査 36,236件 (41,722件) 組合員外検査 363件 (368件) ※（ ）は前年度値

5) その他事業のその他

本協会の設立目的を達成するため、以下事業を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター機械導入事業） (中央畜産会)	地域の畜産関係者が一帯となって畜産の収益性の向上を図る計画を策定して、飼料の生産基盤強化や耕畜連携による飼料自給率向上等に取り組む畜産クラスター協議会の取り組み等に対し、（公社）中央畜産会が支援を行う業務の一部を県窓口団体として実施し、事業の推進、参加申請書の取りまとめ業務等を行った。	導入要望調査 2回 R5割当額 協議会数 7 機械件数 43 補助金額 214,773千円
畜産クラスター推進全国実態調査事業（中央畜産会）	畜産クラスターに係る取り組みを推進するため、先進的な経営体を対象に経営調査を実施した。	調査実施農家 酪農家 5戸 肉用牛繁殖農家 5戸

事業名	事業概要	実施内容
全国優良畜産経営管理技術発表会 (主催：中央畜産会)	経営診断等の業務を通じて明らかにされた、優秀な実績を収めている、または課題解決に取り組んでいる畜産経営を推薦し、関係機関の協力のもと全国で事例発表を行うことで、その経営管理技術の普及拡大を図った。	推薦事例 1戸 (真庭市：丸山昭博氏が農林水産大臣賞を受賞)
全国自給飼料生産コンクール (主催：日本草地畜産種子協会)	自給飼料生産に携わる優良な経営を県内に広く求め、調査・表彰を受けることで、優れた取り組みの普及拡大や関係機関の連携強化を図った。	推薦事例 1戸 (真庭市：苗代ロールベアラ組合が畜産局長賞を受賞)
近代化リース調査事業 (近代化リース協会)	(公財) 畜産近代化リース協会が農家に貸し付けた機械施設の確認調査と、適正利用について補助事業に連動した巡回指導を行うとともに、研修会等でPRを行い、新規利用拡大を図った。	確認指導 22戸 28物件 新規開拓PR 3回
環境負荷軽減型持続的生産支援事業 (中国四国農政局)	おかやま酪農協組合員以外の酪農家を対象に奨励金を交付するための要件である環境負荷軽減の取組内容の確認等を行った。	事業参加者 2名 奨励交付金額 548千円
畜産経営体生産性向上対策事業 (中央畜産会)	畜産農家の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援した。	推進会議の開催 1回 現地調査 3回 対象経営体 1件
酪農緊急パワーアップ事業 (中央畜産会) 【新規】	酪農を営む者に対し、その実情に応じた経営体質強化に資する先進的機器の導入と一体的な施設の整備を支援した。	補助金額 1,519,500円 畜産応援会議の運営支援
家族経営における畜産DX推進事業 (中央畜産会)	令和3、4年度において、DX技術導入済みの1生産者及びDX技術の導入を希望する2生産者に対し経営分析等を実施した。本年度は同種のDX技術導入生産者について継続調査を実施した。地域研究会、大学の研究者、機械メーカー等により県内酪農家への先進技術機械の普及定着のために必要なポイントや、その機能を最大限活かす管理手法を明らかにし、本県酪農DX技術の取り纏めを行った。	調査対象農家 3戸 普及推進農家 2戸 現地調査等 14回 打合・検討会 3回 全国シンポジウム 1回
生産基盤拡大加速化事業(肉用牛) (全国肉用牛振興基金協会)	牛肉の国内需要増加への対応と輸出の一層の拡大を目指すため、2取組主体等に対し事業推進を図り、育種価要件等を満たす繁殖雌牛を増頭した生産者に対し、飼養規模に応じて、1頭当たり246千円又は175千円を交付した。	補助金交付金頭数及び金額 134頭、28,704千円 (内訳) @246千円×74頭=18,204千円 @175千円×60頭=10,500千円

事業名	事業概要	実施内容												
和子牛生産者臨時 経営支援事業 (農畜産業振興機 構)	和子牛のブロック平均価格が発動基準を下回った場合に、合理化目標を設定した事業参加生産者に対し、販売頭数に応じて支援交付金（平均価格と発動基準価格との差額の3/4）を交付する事業で、第2、第3四半期において、黒毛和種に対し交付を行った。	支援交付金交付実績 (令和5年7月～9月) ・黒毛和種 6,904,400円 @16,400×422頭 (令和5年10月～12月) ・黒毛和種 12,070,400円 @16,400×736頭 (令和6年1月～3月) ・黒毛和種 15,752,000円 @22,000×716頭 合計 34,726,800円 1,874頭												
	<table><tr><td>品種区分</td><td>発動基準価格</td></tr><tr><td>黒毛和種</td><td>60万円</td></tr><tr><td>褐毛和種</td><td>55万円</td></tr><tr><td>その他の肉専用種 (無角和種及び日本短角種)</td><td>35万円</td></tr></table>	品種区分	発動基準価格	黒毛和種	60万円	褐毛和種	55万円	その他の肉専用種 (無角和種及び日本短角種)	35万円					
	品種区分	発動基準価格												
	黒毛和種	60万円												
	褐毛和種	55万円												
その他の肉専用種 (無角和種及び日本短角種)	35万円													
なお、本事業は、第4四半期（令和6年1月～3月）が追加され、平均価格の設定においては、極端に価格が高い県は単独で計算されることに変更された。														
岡山県和子牛生産 者臨時経営支援事 業 (岡山県) 【新規】	和子牛（黒毛和種）取引価格の県平均価格が和子牛生産者臨時経営支援事業（機構事業）における当ブロック（本州関東以西・四国）平均価格を下回った場合に、販売頭数に応じてその差額の1/2を補助する事業で、第1、第2及び第3四半期において交付を行った。	補助金交付実績 (令和5年4月～6月) 12,448,800円 @17,100×728頭 (令和5年7月～9月) 5,203,000円 @11,000×473頭 (令和5年10月～12月) 8,657,000円 @11,000×787頭 合計 26,308,800円 1,988頭												
	<table><tr><td>価格 期間</td><td>県平均 (円/頭)</td><td>ブロック平均 (円/頭)</td></tr><tr><td>4月～6月期</td><td>565,754</td><td>622,067</td></tr><tr><td>7月～9月期</td><td>513,430</td><td>578,029</td></tr><tr><td>10月～12月期</td><td>556,000</td><td>578,065</td></tr></table>	価格 期間	県平均 (円/頭)	ブロック平均 (円/頭)	4月～6月期	565,754	622,067	7月～9月期	513,430	578,029	10月～12月期	556,000	578,065	
	価格 期間	県平均 (円/頭)	ブロック平均 (円/頭)											
	4月～6月期	565,754	622,067											
	7月～9月期	513,430	578,029											
10月～12月期	556,000	578,065												
畜産女性活動支援 事業（畜産協会）	県内の畜産経営の中核的な役割への女性参画の拡大と女性の地位向上を図るために、女性自身の経営者能力の向上等を図る研修会へ助成を行った。	全国畜産縦断いきいきネッ トワーク大会 1名 近県交流会 3名 和牛改良組合女性部研修会 1名												
馬伝染性疾病防疫 推進対策事業 (中央畜産会)	競走馬以外の乗用馬等に馬インフルエンザワ クチンの接種を推進した。	地域推進会議 2回 実施予定頭数 132頭												

事業名	事業概要	実施内容
育成馬等予防接種 推進事業 (中央畜産会)	競馬場入厩前の育成馬に馬インフルエンザ、ゲタウイルス感染症、破傷風の予防注射を推進して、競走馬資源の涵養と競走馬生産の安定的な維持発展に役立てた。	2歳馬 延べ43頭
地域自衛防疫推進 事業 (中央畜産会)	岡山県等との共催で、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱等に係る防疫演習を実施し、防護服等を提供した。	推進会議 2回 防疫演習 4回
地域農場HACCP 認証支援事業 (中央畜産会)	農場HACCPの認証取得5農場のフォローアップ指導を行うとともに、3農場において構築を進めた。また、農場HACCPの構築や運用への理解を深めるため、農場HACCP認証制度研修会を開催する他、普及を図るため運用上の成果、課題等の普及推進協議会を開催した。	研修会 1回 普及推進協議会 1回 フォローアップ 5農場 (酪農2、肉用牛2、 採卵鶏1) 構築指導 3農場 (肉用牛2、採卵鶏1) 認証維持審査 1農場
牛せき柱適正管理 等推進事業 (日本畜産副産物 協会)	牛せき柱の適正な管理を実施した食肉事業者に対して適正管理促進費を交付した。	食肉事業者 8 業者 対象頭数 15,513 頭
家畜伝染性疾病清 浄化支援事業 (岡山県)	農場の飼育管理状況の調査、牛ウイルス性下痢(BVD)の防疫対策を推進するため啓発指導を行うことにより、BVDに関する知識を普及啓発し、適切な飼育管理や検査、ワクチン接種を指導したが、PI牛(ウイルスを持続して保有・排出し、感染源となる牛)のとう汰の希望はなかった。	農場調査 40 農場
生産技術情報提供 事業 (中央畜産会)	家畜の生産技術情報に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及びその分析結果に基づく助言指導を実施した。	酪農経営 3戸 和牛繁殖経営 2戸